

| | | | | |
|------|---------------------|----|--------------|--------------|
| No. | 15-1-8 | 場所 | 高森町 下平 下平駅東側 | 次世代への継承キーワード |
| 名称 | 一面の泥海と化した下平駅東側の水田地帯 | | | 情報伝達網整備 |
| 災害現象 | 洪水氾濫 | | | 河川 天竜川本川 |
| 補足事項 | | | | 支流 |

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

概要

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●被害状況の記録：新聞社掲載

六月二十四日から降り始めた梅雨は二十七日昼近くなりにはわかにその雨足を増した。午後一時頃になると各所から相次いで、中小河川の増水、欠漬が報告され、二時町では対策本部を設置し、この豪雨に対処する事になった。**更に夕刻に掛けて雨足はつのもり、午後二時天白堂橋流失、田沢川、下平駅浸水、山吹診療所が危険になる等、惨害が相次いで本部にもたらされた。**

（「たかもり」掲載記事より）

記録



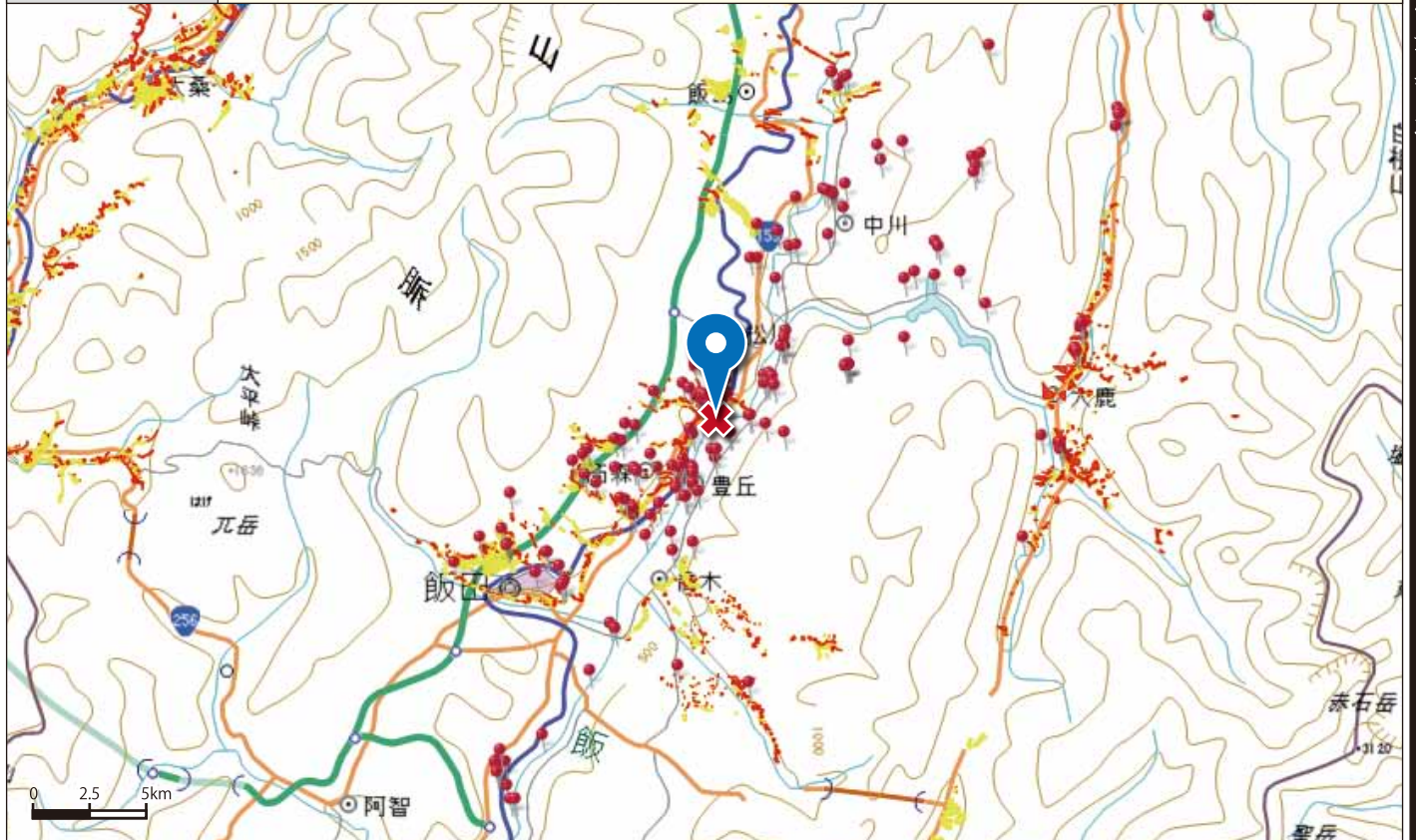
一面の泥海と化した下平駅東付近の水田地帯。手前は飯田線、左側が氾濫した天竜川。

| | | | |
|----|--------------------------------------|--|--|
| 出典 | 「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.15/「たかもり」掲載記事 | | |
| 備考 | | | |

| | | | | | |
|-----|--------|----|--------------|----|-----------|
| No. | 15-1-8 | 場所 | 高森町 下平 下平駅東側 | 緯度 | 35.572091 |
|-----|--------|----|--------------|----|-----------|

| | | | | | |
|----|---------------------|--|--|----|------------|
| 名称 | 一面の泥海と化した下平駅東側の水田地帯 | | | 経度 | 137.897794 |
|----|---------------------|--|--|----|------------|

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。